



浜松市モビリティサービス推進 コンソーシアム

令和4年度第1回会議



令和4年5月19日（木）14:00-15:00



- 1 開会
- 2 共同幹事挨拶
- 3 会員の申込状況
- 4 今年度の取組について
 - (1) アイデアブレスト
 - (2) ドローンに関する意見交換会
- 5 会員のモビリティ関連のプロジェクトについて
- 6 意見交換
- 7 閉会

2 共同幹事挨拶



- 浜松市
デジタル・スマートシティ推進事業本部長 内藤 伸二郎
- 遠州鉄道(株)
ICT推進課長 小林 廉
- スズキ(株)
次世代モビリティサービス本部 本部長 熊瀧 潤也

3 会員の申込状況

- 一般会員90団体からの申込（令和4年5月19日時点）。
- R3第5回会議（令和4年3月16日）時点の88団体から、一般会員2団体が新規会員に。

No.	法人名
1	セイノーホールディングス株式会社
2	大日本印刷株式会社

4 今年度の取組について

- (1) アイデアブレスト
- (2) ドローンに関する意見交換会

4 (1) アイデアブレスト

目的	<ul style="list-style-type: none">・分野間や会員間の情報共有・連携を促進。
内容	<ul style="list-style-type: none">・テーマを設定し、浜松市の課題をインプット。・課題解決に向けたアイデア発想やディスカッション、ソリューション提案や事例の共有を行う。・開催方法：対面・参加費：無料・アイデアブレスト開催後、希望に応じてメンタリングを実施し、PoC・実装化を支援する。
スケジュール (予定)	<ul style="list-style-type: none">・5月中 アンケートにより会員へ希望調査・6月上旬 テーマ設定・7月上旬 開催案内・8月下旬 アイデアブレスト開催（午後半日のイメージ）

4 (2) ドローンに関する意見交換会



目的	・コンソーシアム会員と浜松市関係部署との意見交換。
内容	・意見交換を通じ、浜松市内のフィールドにおける各分野の課題整理、取組の共有、活用の有力分野、協調領域の創出を図る。 ・開催方法：オンライン ・参加費：無料
スケジュール (予定)	・5月中 会員から参加者募集 【参加条件】実際にドローンを活用・検討している団体 参加者とりまとめ、Slackチャンネル立ち上げ ・6月29日(水) 10:00-12:00 第1回目開催 ・趣旨説明、国の動向、市の活用状況、会員の事例紹介など ・7月上旬 オンラインセミナー開催※別途案内 ・以降、年度内に3回程度開催。

⇒アイデアブレスト、ドローンに関する意見交換会の参加申込についてSlackにて

5 会員のモビリティ関連のプロジェクトについて

マックスバリュ東海 移動スーパー事業について

2022年度スローガン

情熱を、ひとつ、かたちにする。

マックスバリュ東海「らしさ」を駆使して、情熱をもって、
それぞれの地域に、そして想う誰かに、
何かひとつの喜び、楽しさ、美味しさ、驚きを届けよう。

2022年5月19日 浜松市コンソシアム資料
経営企画統括部 EC推進部 新規事業推進G

江浜 佑一

1.販売エリア

2.仕様(特徴・売り場・チラシ見本・決済)

3.実績(直近1か月)・売れ筋

4.お客様の声

1. 販売エリア・拠点確定フロー

2. 仕様(特徴・売り場・チラシ見本・決済)

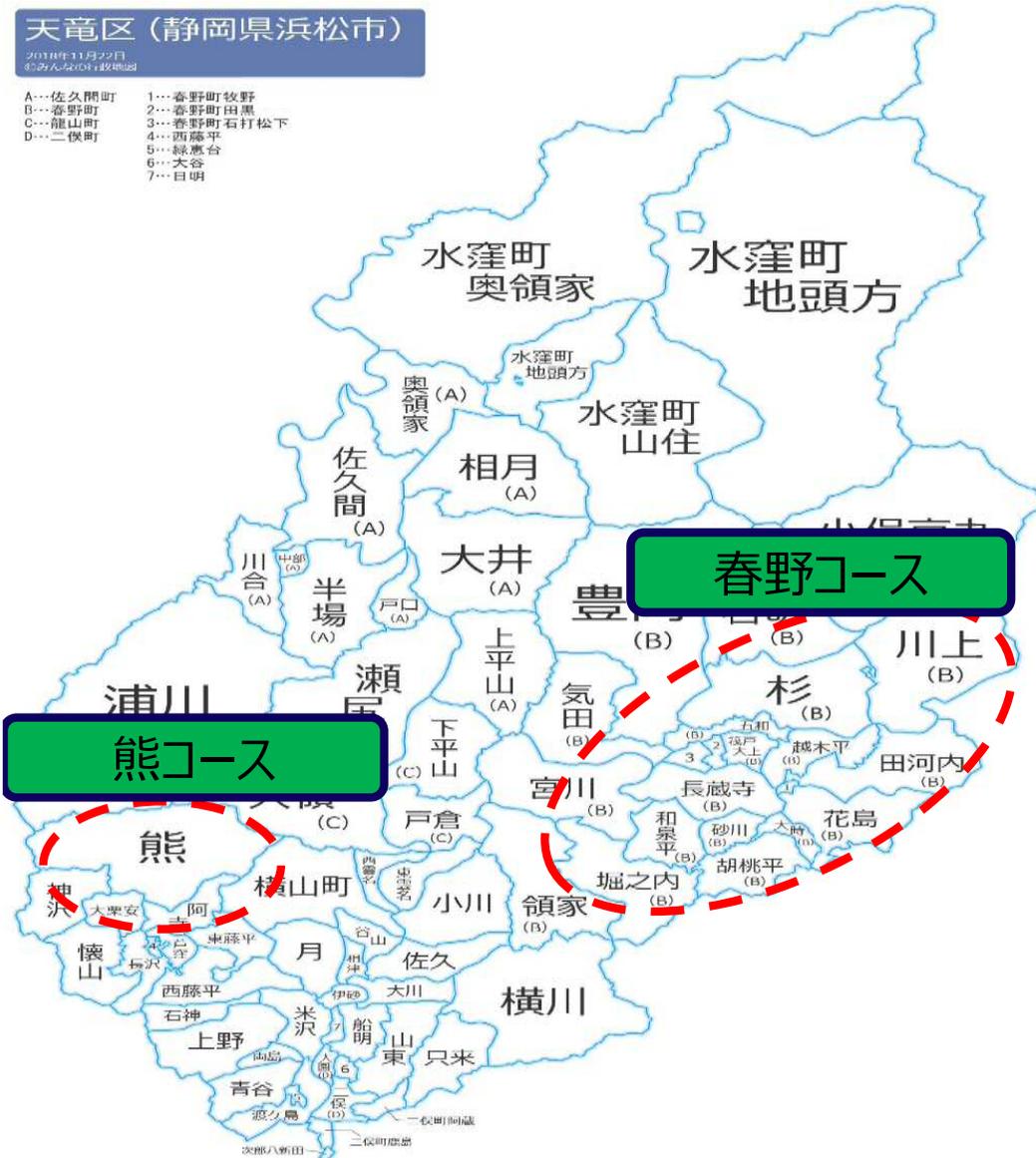
3. 実績(直近1か月)・売れ筋

4. お客様の声

天竜区 (静岡県浜松市)

2018年11月22日
8:29/2018/11/22

- A...佐久間町
- B...春野町
- C...龍山町
- D...二俣町
- 1...春野町牧野
- 2...春野町田黒
- 3...春野町石打松下
- 4...西藤平
- 5...緑蕨台
- 6...大谷
- 7...白明



地区	人口(比率)	距離/時間(←MV中瀬)	
天竜	17,802人 66.0%	熊ふれあいC	25km 車で約40分
春野	3,899人 14.4%	春野協働C	26km 車で約40分
龍山	1,820人 1.9%	龍山協働C	23km 車で約34分
佐久間	2,931人 10.9%	佐久間協働C	42km 車で約60分
水窪	1,820人 6.8%	水窪協働C	50km 車で約70分
天竜区 全体	100%		



	コース選定5コース（春野4・熊1）	必要期間
1	お客様の困りごと調査・競合調査	3週間
2	行政へ事業説明・コース選定協力依頼・自治会紹介	2週間
3	自治会参加（コースご提案・協力依頼）	2か月
4	各商工会へ事業説明（地域商店との協力・理解）	
5	自治会の声集約（販売拠点のご提案・追加提案など）	
6	テストドライブ・運行表配布（ポスティング・回覧板など）	1週間
7	完成！	3.5か月

1 .販売エリア・拠点確定フロー

2 .仕様(特徴・売り場・チラシ見本・決済)

3 .実績(直近1か月)・売れ筋

4 .お客様の声

- ✓決まった場所に決まった時間にうかがいます
- ✓生鮮品から家庭用品まで約500種類の商品を品ぞろえ
- ✓商品の価格は、店舗の価格と同じ
 - ※手数料として1品10円（税込11円）を別途いただきます
- ✓現金・WAONなどの電子マネー・クレジットカードでお支払い
- ✓配送ドライバーは店舗の経験豊富な社員

店が遠くて
行けない人の
近くに

約500種類の
商品が
揃っています

各種電子マネー
各種クレジットカード
ご利用可

マックスバリュの移動スーパーが
お家の**近く**にやって来る!!



火

曜日運行コース

出発地	到着地	出発時間	到着時間	出発地	到着地	出発時間	到着時間
● 川上(厚島・大山・川内)	● 川上(大月・中野)	10:56	11:11	● 萩原二(門島・萩原)	● 萩原二(久原)	13:42	13:57
● 川上(大月・中野)	● 萩原二(渡田若) [伊藤店]	11:14	11:29	● 萩原二(久原)	● 萩原一(源野・中野 公園前)	14:01	14:16
● 川上(大月・中野)	● 萩原二(渡田若)	11:30	11:45	● 萩原一(源野・中野 公園前)	● 萩原二(公園)	14:19	14:34
● 萩原二(渡田若) [伊藤店]	● 萩原二(渡田若)	11:40	13:04	● 萩原二(公園)	● 萩原二(公園)	14:53	15:08
● 萩原二(渡田若)	● 萩原二(渡田若)	13:09	13:24	● 萩原二(公園)	● 萩原二(公園)	15:21	15:36
● 萩原二(渡田若)	● 萩原二(渡田若)	13:25	13:40	● 萩原二(公園)	● 萩原二(公園)	15:41	15:56

お問い合わせ先 マックスバリュ浜北中瀬店 TEL.053-588-3558 (受付時間 9:00~21:00)

春野地区 運行予定表

2022年4月5日より スタートします

曜日	時間	10:56~	11:14~	11:30~	11:40~
火曜日	原車場所	川上(厚島・大山) → 川上(大月・中野) → 川上(大月・中野) → 萩原二(渡田若) →			
	時間	13:09~	13:25~	13:42~	14:01~
	原車場所	萩原二(渡田若) → 萩原二(渡田若) → 萩原二(公園) → 萩原二(公園) →			
	原車場所	萩原一(源野・中野) → 萩原二(公園) → 萩原二(公園) → 萩原二(公園)			
水曜日	時間	10:50~	11:19~	11:39~	12:55~
	原車場所	田島内(厚島) → 萩原二(公園) → 萩原二(公園) → 大崎 →			
	時間	13:20~	13:50~	14:11~	14:28~
	原車場所	萩原二(公園) → 萩原二(公園) → 萩原二(公園) → 萩原二(公園) →			
金曜日	時間	10:39~	10:56~	11:15~	11:40~
	原車場所	萩原二(公園) → 萩原二(公園) → 萩原二(公園) → 久原(厚島) →			
	時間	13:10~	13:33~	13:49~	14:23~
	原車場所	萩原二(公園) → 萩原二(公園) → 萩原二(公園) → 萩原二(公園) →			
土曜日	時間	10:41~	11:03~	11:27~	11:57~
	原車場所	五所(公園) → 萩原一(行橋平) → 萩原二(公園) → 萩原二(公園) →			
	時間	13:20~	13:37~	13:54~	14:18~
	原車場所	萩原二(公園) → 萩原二(公園) → 萩原二(公園) → 萩原二(公園) →			

※本表はあくまで参考です。変更がある場合があります。詳しくは各店舗にお問い合わせください。

クレジットカード



コンタクトレス

タッチ決済が
ご利用いただけます。



●ご本人のカード以外はご利用いただけません。●サインのないカード、レシートのサインが異なるカードはお取扱いできません。

電子マネー



ご利用の場合は、右記電子マネーを
ご指定の上お支払いください。



バーコード決済



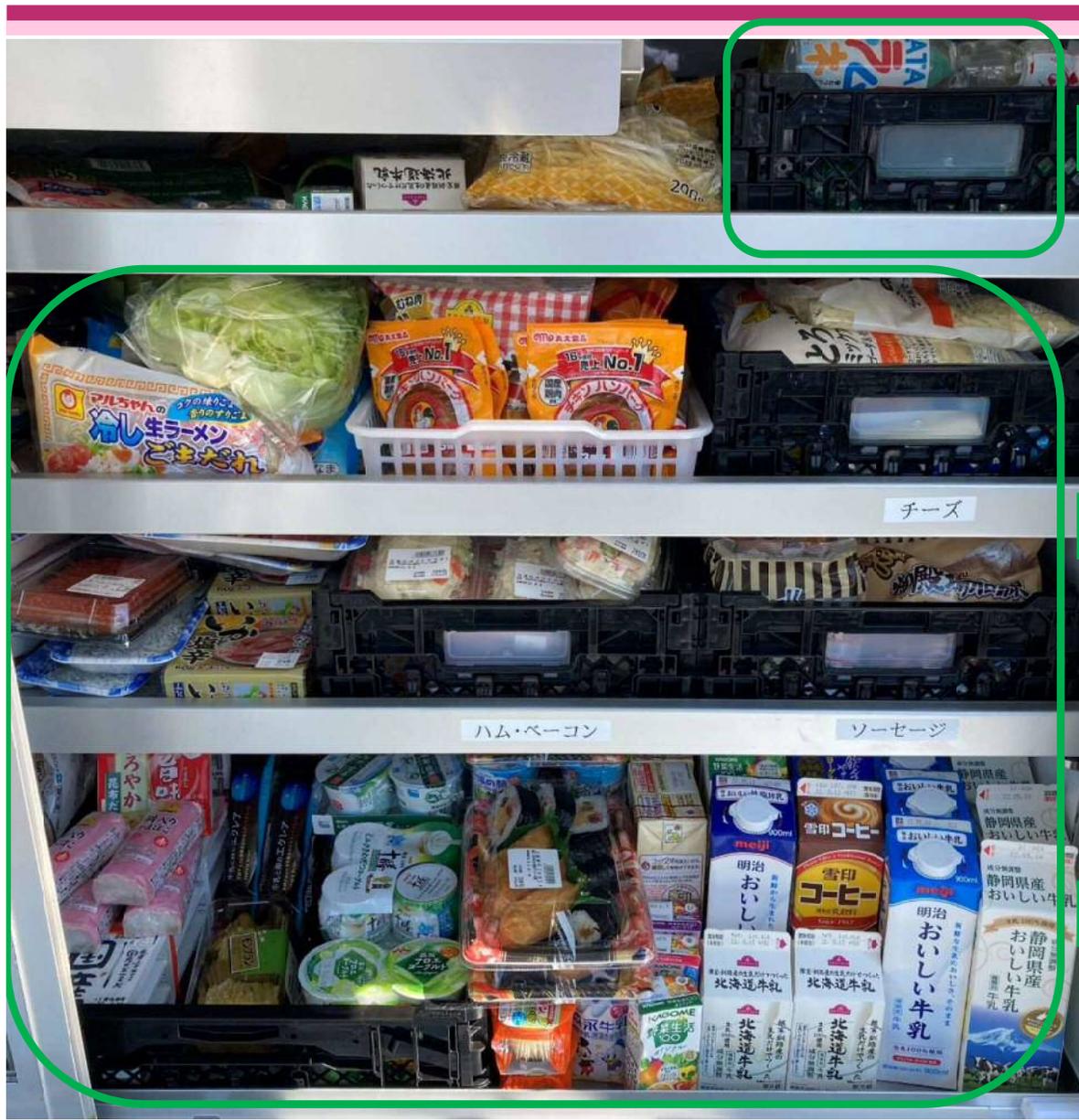


水産
(刺身柵)

水産
(刺身・切身 他)

畜産
(牛肉・豚肉・鶏肉)

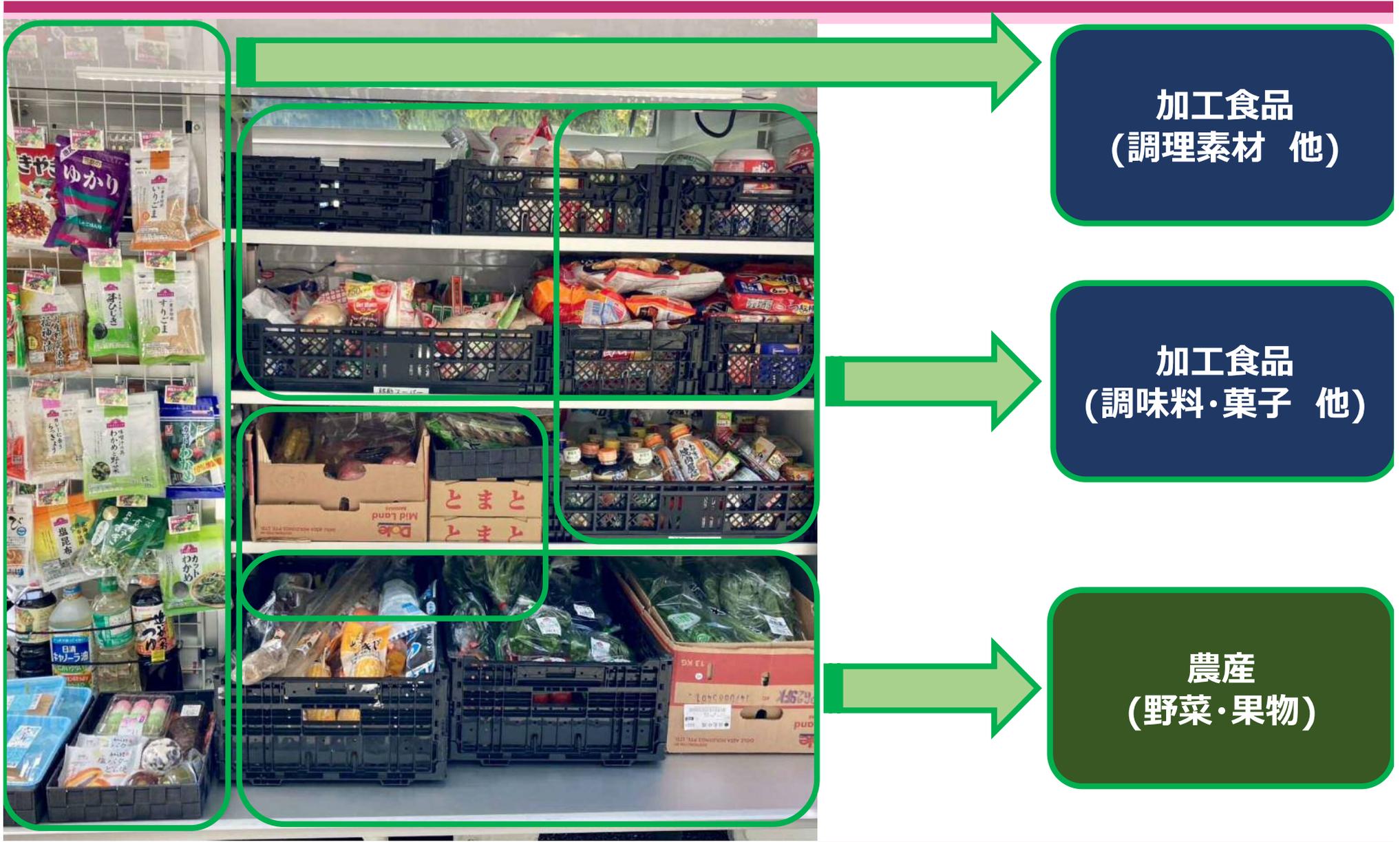
デイリー
(水物・漬物 他)



加工食品
(飲料)

デイリー
(ハム・チーズ 他)

デイリー
(乳製品 他)





加工食品

デイリー
(たまご)

デイリー
(食パン)



デイリー
(アイス)

※助手席に積み込み

1 .販売エリア・拠点確定フロー

2 .仕様(特徴・売り場・チラシ見本・決済)

3 .実績(直近1か月)・売れ筋

4 .お客様の声

曜日	エリア	拠点数	売上 (目標比)	客数 (目標比)
月	熊	15	111%	118%
火	春野	12	130%	145%
水	春野	11	206%	196%
木	熊	15	105%	129%
金	春野	11	198%	210%
土	春野	12	143%	142%



- 1位 びんちょうまぐろ切落とし
- 2位 きはだまぐろ切落とし
- 3位 厚切り五ツ星トンカツ三元豚

1. 販売エリア・拠点確定フロー

2. 仕様(特徴・売り場・チラシ見本・決済)

3. 実績(直近1か月)・売れ筋

4. お客様の声

- ✓もっと刺身（特にまぐろ）を買いたい（多数意見）
- ✓今晚のおかず（惣菜）になるものを買いに来た。
- ✓アイスは浜北から自宅までの間に溶けるので、今まで買いに行けなかった
配送されるとうれしい
- ✓おかず（惣菜）は、世帯人数が少ないので少量パックがうれしい
- ✓配送時間が約束より遅い
- ✓週に1度まとめ買いしなくてもよくなった。また来週もお願いします
あてにしています
- ✓〇〇の家（ご近所）にも配送に行ってほしい
- ✓取り扱い商品の要望。「でこぼん」など国産柑橘、「調整豆乳」
- ✓「エバラプちっとうどんシリーズ」…など
- ✓刺身など生食が買えるのがうれしい



想いを形に、「おいしい」でつながる。



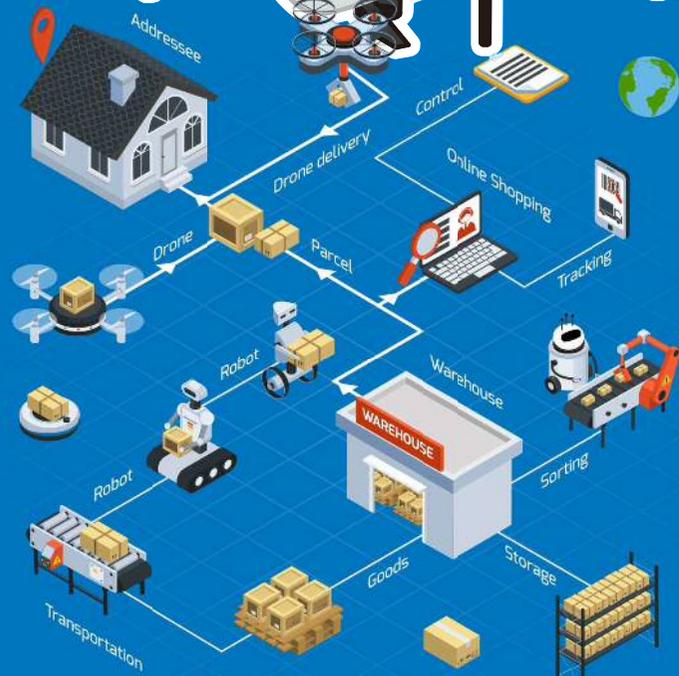
マックスバリュ東海株式会社

浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム



新スマート物流 SkyHub[®]

—地域からはじまる物流革命—



株式会社エアロネクスト

会社概要

会社名	株式会社エアロネクスト（英文 AERONEXT Inc）
設立	2017年4月11日
所在地	東京都渋谷区恵比寿西2-3-5石井ビル6F
従業員数	19名（2022年1月末時点）
経営陣	代表取締役CEO 田路 圭輔 取締役CFO 広瀬 純也 社外取締役 千葉 功太郎 社外取締役 岡 洋 監査役 笹村 正彦
事業内容	産業用ドローンの技術開発 産業用ドローンのサービス開発
関係会社	株式会社NEXT DELIVERY AeronextHK Ltd. 天次科技（深圳）有限公司
拠点	日本（東京／山梨）、中国（深圳）

© 2022 AERONEXT Inc.



会社概要

ビジョン

新しい空域の経済化

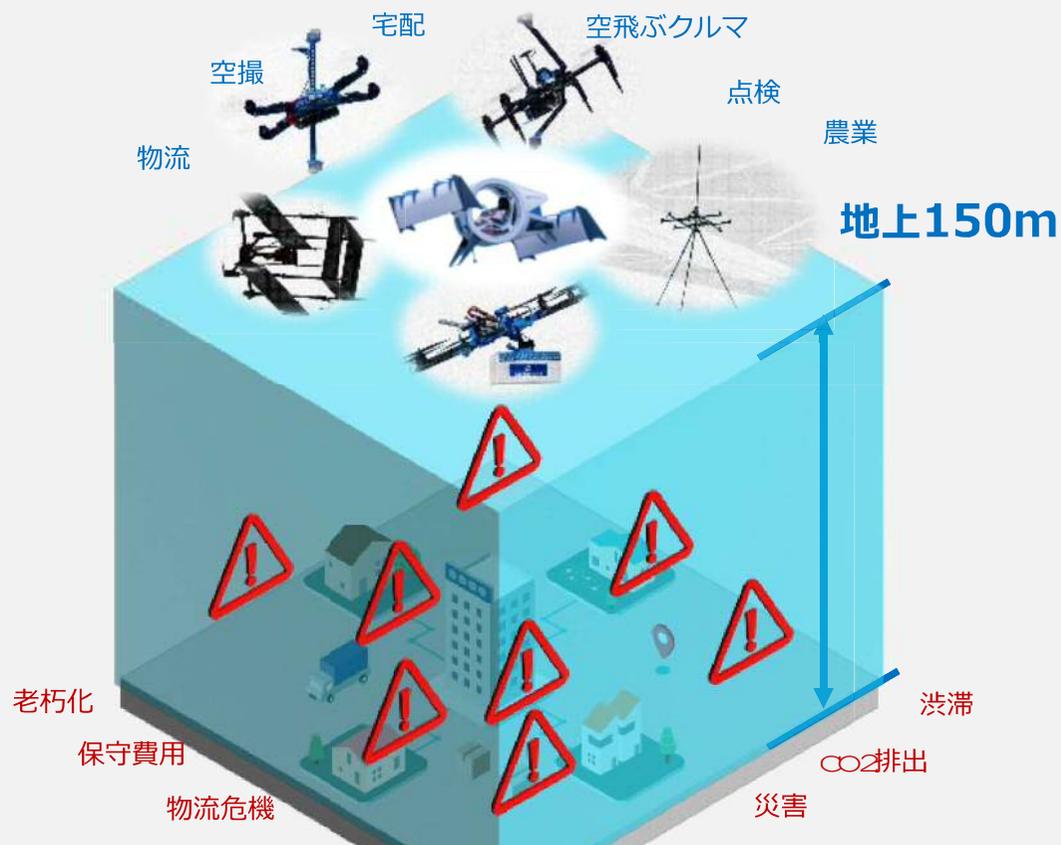
低空域を活用し、モノとヒトの移動を効率化

地上インフラの弱点を補うのみに留まらず、今までにない新たな価値を社会に提供する。

ドローンが活躍する用途

物流 / モビリティ / 点検 / 農業 / 警備 / 空撮 等

ドローンによる問題解決と価値創造



地上インフラの危機

ミッション

技術/知財の提供

物流に特化した戦略子会社

株式会社 エアロネクスト



- ・ ドローンの可能性を広げる技術開発
- ・ 知財ライセンスによる製品化主導



コア技術

4D GRAVITY

経済産業大臣賞



知財意匠

特許出願373件

登録特許140件

株式会社NEXT DELIVERY



- ・ 技術をサービス化し、流通を加速
- ・ 技術の恩恵を享受できる仕組みづくり



サービス

ドローン配送200回超

パッケージ化



パートナー

資本業務提携

自治体連携多数

フィードバック

- ① 将来サービスインするのに不可欠な技術を先回りして知財化▶確固たる参入障壁の構築
- ② 高い技術に支えられたハードウェアを有するからこそ可能な競争優位なサービス開発

新スマート物流

物流 × ドローン



2021年
セイノーHDと資本業務提携

地域社会の次世代インフラ



キラーアイテム「ドローン」

物流ノウハウ



地域物流の非効率を解決

“省人化”

“標準化”

物流クライシス

宅配個数急増

ドライバー不足

過疎地域の課題

取り組む社会課題

51.5%

過疎地域を含む市町村の割合

(東京23区を除く全国1,718市町村)



【過疎地域】

人口減少団体の平均人口減少率より
人口が減少しており**財政力**の弱い市町村。

(過疎地域自立促進特別措置法)

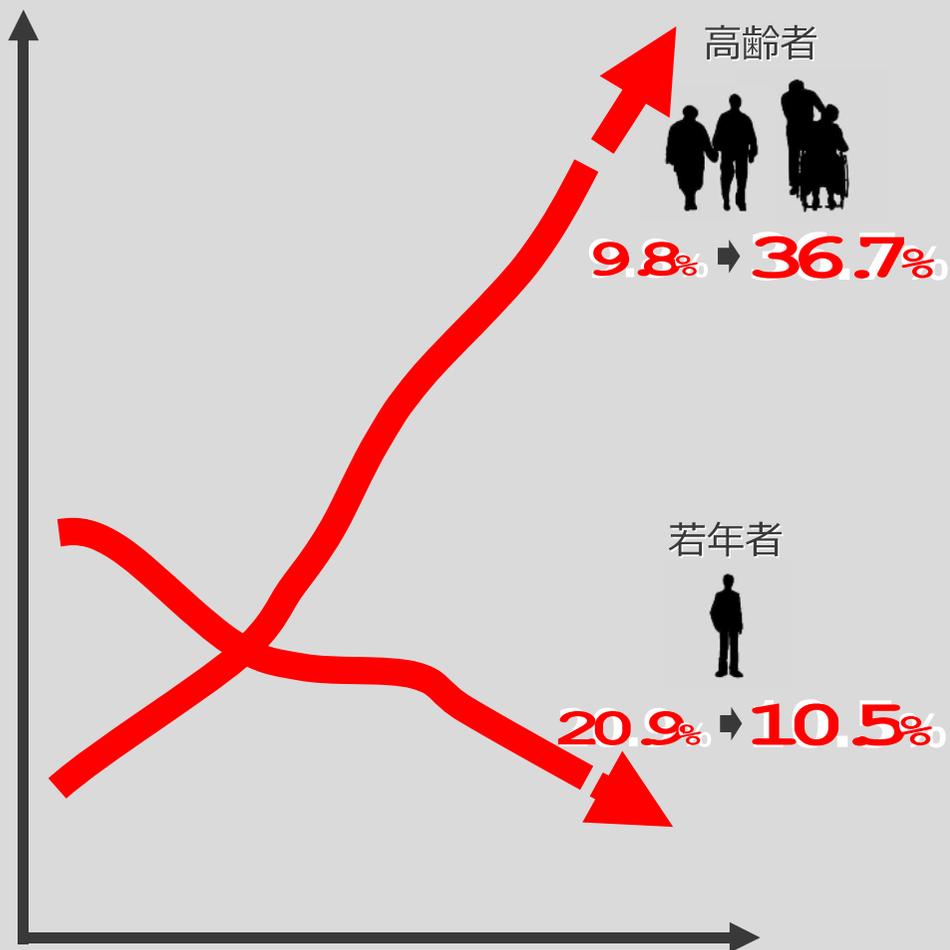


少子高齢化に伴い、過疎は深刻化。

過疎地域の維持コストの増大は、
日本における**最重要課題**

過疎地の高齢者/若年者比率の推移

1970→2015



負のスパイラル



地域コミュニティ維持コスト増大

過疎地域における課題

買物難民

2015年経産省資料によると全国で700万人

医療難民

団塊世代が2025年頃までに後期高齢者（75歳以上）を迎える

物流難民

2024年より「働き方改革関連法」の自動車運転業務への適用が開始

自然災害

建設後50年後以上が経過する社会資本の増加例 橋梁 2033年に約63%

迅速に解決をしなければ地域コミュニティの存続自体が危い状況▶▶▶**地方消滅**

空のインフラ

Sky Hub

モノの移動

ヒトの移動

ライフライン

コスト安い

安全

災害に強い



小菅村における取り組み



小菅村での提供サービス

① ドローン配送



② 買物代行



③ 共同配送 & 貨客混載



ターゲット
(エンドユーザー)

住民・観光客

物流会社・バス会社

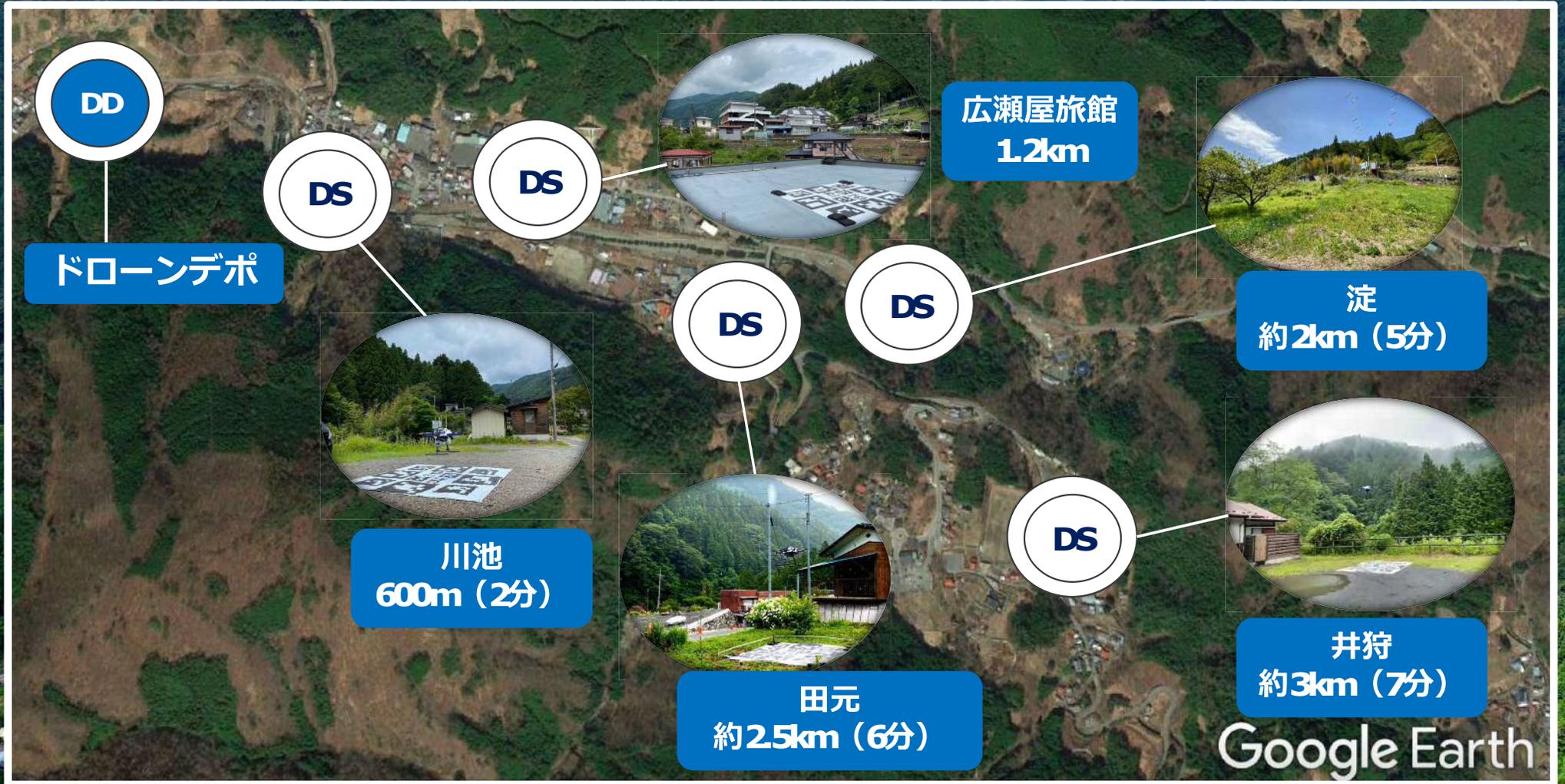
ニーズ

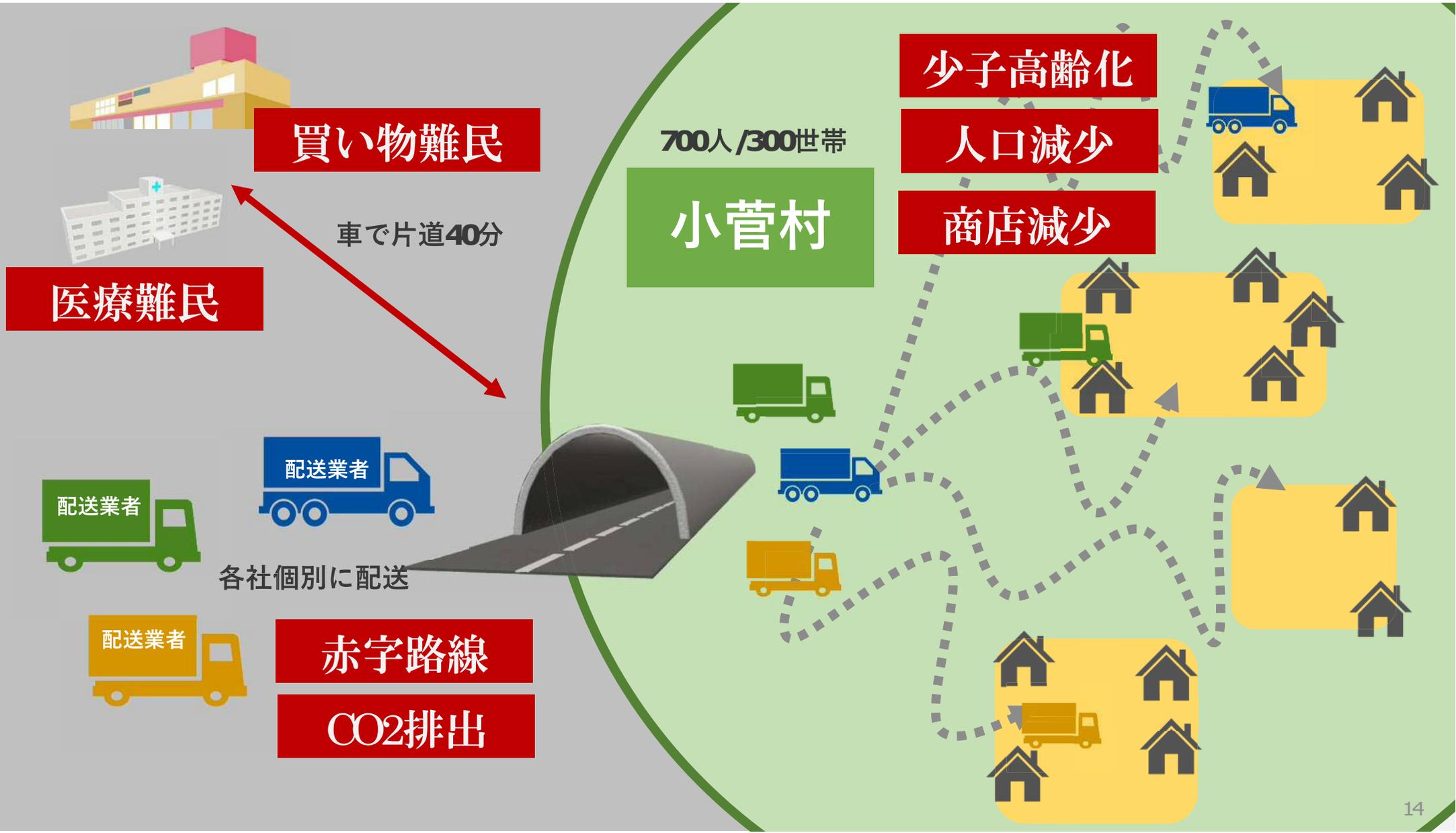
- ・ 早く届けて欲しい
- ・ 災害時の物資輸送

- ・ 買い物負担の軽減
- ・ 入手困難商品の入手
- ・ 従業員との会話

- ・ 赤字路線の負担軽減
- ・ 収益の多様化

2022年11月のドローン定期運航ルート





買い物難民

車で片道40分

医療難民

700人/300世帯

小菅村

少子高齢化

人口減少

商店減少

配送業者

配送業者

各社個別に配送

配送業者

赤字路線

CO2排出



ドローン配送件数

285 件

テストフライト含む

お買い物代行件数

454 件

SkyHub で実現する未来



家から出ずに、スーパー
でお買い物ができる



注文から5分で
熱々ランチが手元に届く



病院に行かずに、処方薬
を入手できる



現金を持ち運ばずに決済
できる



自分の荷物の所在を確認
し、指示できる。



緊急時の通報がボタン
1つでできる



テクノロジーの社会実装のポイント



地域密着

単発ではなく、技術とともに地域に根づく

山梨県 北都留郡 小菅村

<https://youtu.be/kBSbxzMwdA>

コア技術



機体の要件定義できることがドローンの社会実装の鍵

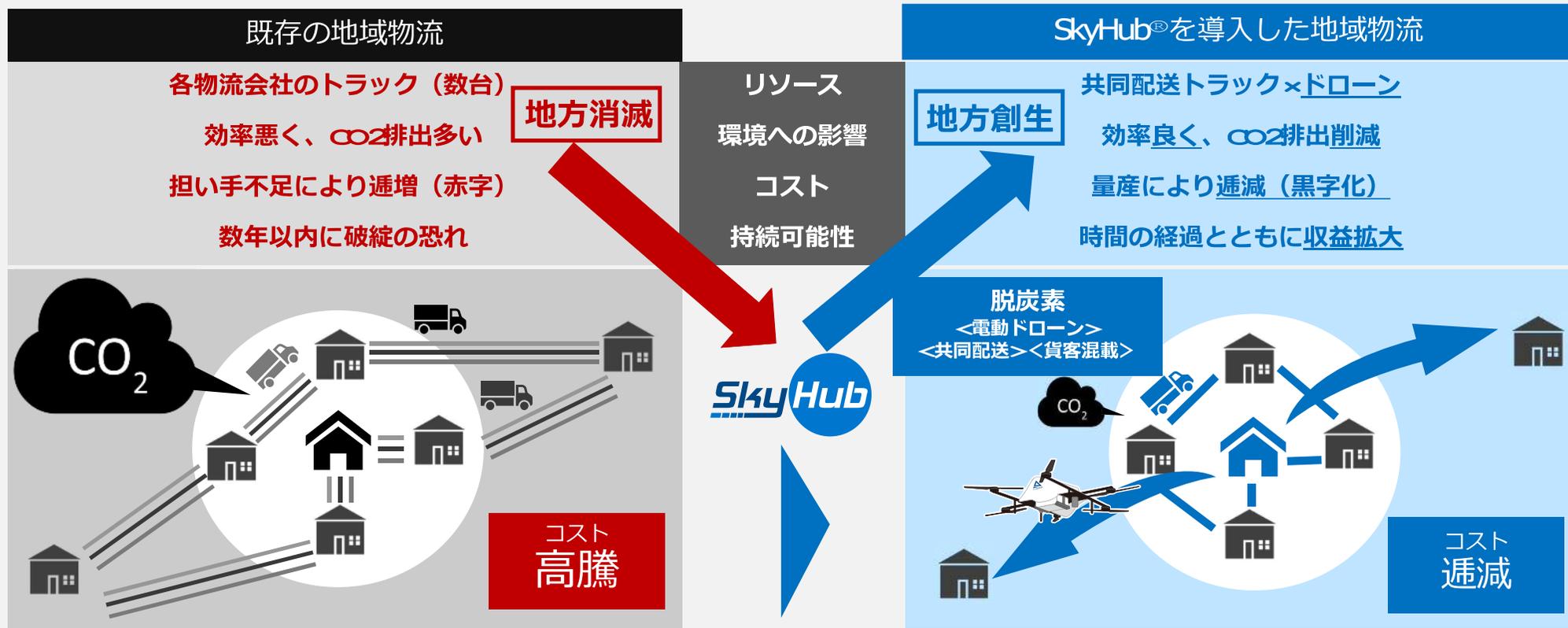
AirTruck

https://youtu.be/0wVQsj_258o

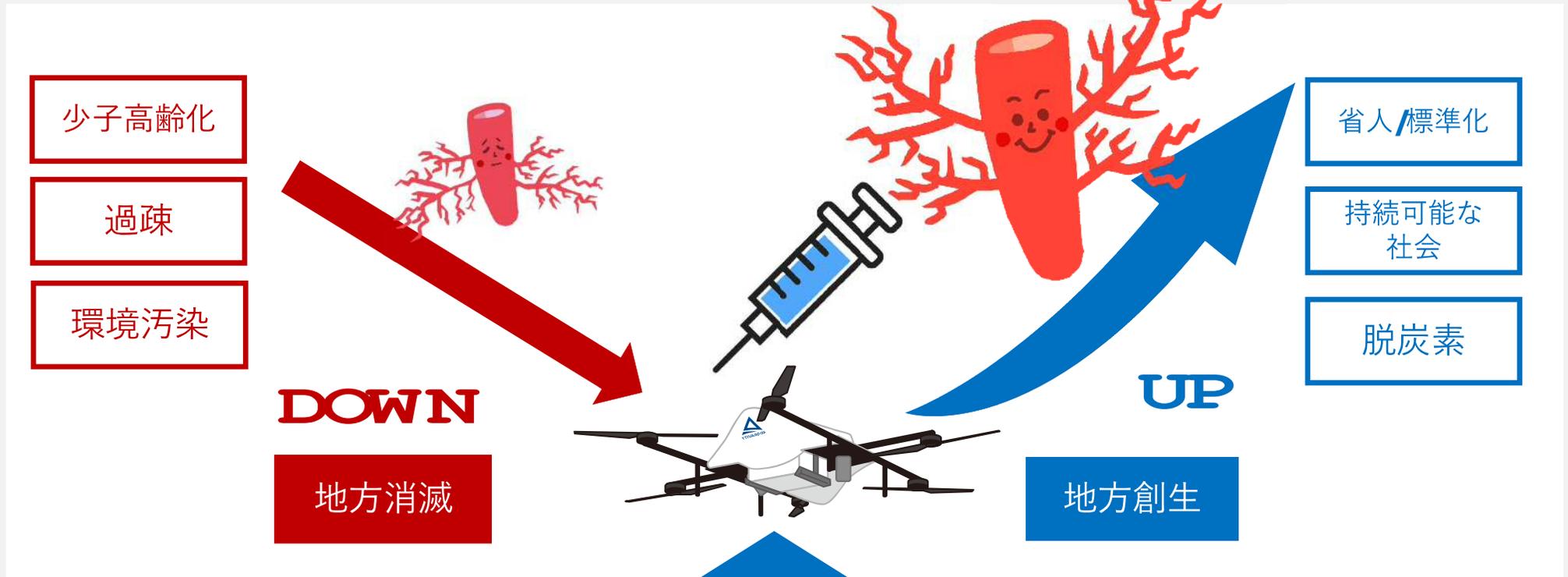
エコノミクス



ドローン単体ではなく、既存システムとの最適な組み合わせを追求



ドローンの利用が経済的に合理的なユースケースを見つけ、そこから実装



日本の未来を担う「空のインフラ」を本気で社会実装するためのプロジェクト

SkyHub®の全国展開（実証実績）

2021年度のPoC実績は国内トップ（飛行回数475回、飛行距離1,798km）



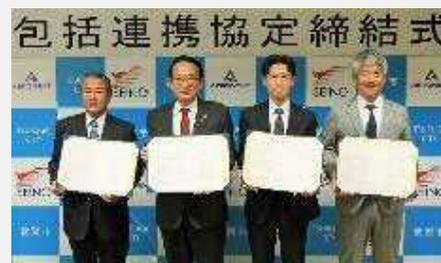
SkyHub®プロジェクトのマイルストーン



山梨県小菅村と連携協定を締結



セイノーHD ACSLと3社資本業務提携を発表



福井県敦賀市と包括連携協定を締結



日本発の物流専用ドローン AirTruckの量産開始 (ACSL)



2020年11月

セイノーHDと業務提携を発表



© 2022 AERONEXT Inc.

6月

北海道上士幌町と包括連携協定を締結



8月

11月

全国自治体を対象とした新スマート物流シンポジウムを開催



2022年3月

現在

6月頃

2022年中に全国自治体への展開を一気に加速



The logo for SkyHub, featuring the text "SkyHub" in a stylized font. "Sky" is in blue with a white underline, and "Hub" is in white with a blue underline. The logo is set against a white circular background.

SkyHub



**日本の
地域**



**世界の
地域**



空のインフラで、世界中の困っている人々の救済を目指します

2022年 3月 22日
株式会社 SkyDrive
スズキ株式会社

**SkyDriveとスズキが「空飛ぶクルマ」の事業・技術連携に関する協定締結
～機体開発、製造・量産体制、インド市場開拓等について検討開始～**

株式会社 SkyDrive（本社：愛知県豊田市、代表取締役 CEO 福澤知浩、以下「SkyDrive」）とスズキ株式会社（本社：静岡県浜松市、代表取締役社長 鈴木俊宏、以下「スズキ」）は、「空飛ぶクルマ」（※1）の事業化を目指し、連携協定を締結したことをお知らせいたします。



■ 連携協定の内容

「空飛ぶクルマ」の社会実装実現を目指し、2者間で事業・技術連携を行います。下記の項目について、検討を開始します。

- 機体開発及び要素技術の研究開発
- 製造・量産体制および計画
- スズキの四輪・二輪・マリンに「空飛ぶクルマ」を加えた新しいモビリティの具体化
- インドを中心とした本件対象の海外市場開拓

■ 連携協定締結の背景

SkyDriveは、空飛ぶクルマの機体メーカーとして、日常の移動に空を活用することを目指し、現在2人乗りの機体を開発中、2025年の大阪・関西万博開催時の大阪ベイエリアでのエアタクシーサービスの実現、ならびに各地域での事業展開を目指しています。

スズキは、「お客様の立場になって価値ある製品を作ろう」を社是に、四輪車、二輪車、船外機と多くの製品を提供しております。人々の生活に密着して地域の移動を支える、なくてはならない存在であり続けることを目指しています。

SkyDriveは自動車同様の世界最小のコンパクトで電動の「空飛ぶクルマ」の製造を目指して開発を推進しています。スズキはコンパクトカーの製造・販売を得意としています。

この度、SkyDriveとスズキは、相互の連携を図ることで、四輪・二輪・マリンにつづく、新しいモビリティ「空飛ぶクルマ」への事業参入を検討し、多様な選択肢をお客様に提供したいという思いから連携協定を締結する運びとなりました。

今後、事業・技術連携を行う事で、技術の研究開発、製造・量産体制の計画、インドを中心とした海外市場開拓を推進し、カーボンニュートラルへの取り組みも推進して参ります。

※1 空飛ぶクルマとは：明確な定義はないが、「電動」「自動（操縦）」「垂直離着陸」が一つのイメージ。諸外国では、eVTOL (Electric Vertical Take Off and Landing aircraft) や UAM (Urban Air Mobility) と呼ばれ、新たなモビリティとして世界各国で機体開発の取組がなされている。モビリティ分野の新たな動きとして、世界各国で空飛ぶクルマの開発が進んでおり、日本においても 2018 年から「空の移動革命に向けた官民協議会」が開催され、2030年代の本格普及に向けたロードマップ（経済産業省・国土交通省）が制定されている。

引用元：国土交通省 <https://www.mlit.go.jp/common/001400794.pdf>

《株式会社 SkyDrive 概要》

設立	2018年7月
代表者	代表取締役 CEO 福澤知浩
URL	https://skydrive2020.com/
所在地	豊田本社：愛知県豊田市挙母町 24-4 東京オフィス：東京都新宿区 豊田テストフィールド：愛知県豊田市足助地区 大阪オフィス：大阪府大阪市北区梅田1-31-800号 大阪駅前第1ビル8階
事業内容	「100年に一度のモビリティ革命を牽引する」をミッションに、「日常の移動に空を活用する」未来を実現するべく、2018年7月に設立、「空飛ぶクルマ」及び「物流ドローン」を開発しています。「空飛ぶクルマ」の開発においては、国内で唯一、有人飛行試験を実現し、官民協議会の構成員として制度設計にも関与しております。30kg以上の荷物を運搬可能な「物流ドローン」は、山間部を中心とした作業現場で活用いただいています。「空飛ぶクルマ」は、現在2人乗りの機体を開発中、2025年に大阪ベイエリアでのサービス開始を目指しております。

《スズキ株式会社 概要》

設立	1920年3月
代表者	代表取締役社長 鈴木俊宏
URL	https://www.suzukico.jp/
所在地	本社：静岡県浜松市
主要製品	四輪車・二輪車・船外機・電動車いす等

6 意見交換